

総務文教委員会

鈴木弘委員長コメント

当委員会の所管事務調査においては、小中学校のトイレ大規模改修について、富士根南中学校と富士宮第一中学校を視察し調査を行いました。

教育委員会では、平成21年度から令和5年度までに大規模改修工事を22棟実施しています。内容は、配管の交換、ブースの更新、床面乾式化、暖房便座、温水シャワー付き洋式トイレへの交換等です。

総額約6億9千万円を要しており、両校はそれぞれ5千万円弱の工事費となっています。

改修されたトイレは道の駅のように、とてもきれいでした。残り44棟ありますが、1年に2棟ずつ改修を行う予定です。残りの改修が終わるまで後22年かかることとなりますが、その間、修繕により洋式化等は進めて行く予定とのことでした。



▲根南中学校のトイレ



▲一中体育館のトイレ

先進地視察

8/5～6 浜松市：浜松市の不登校対策施策について
神戸市：神戸市の不登校対策施策について

当委員会では昨年度と本年度において、「小中学校における不登校の実態と対応について」を政策課題として取り組んでいます。今年度は不登校対策に先進的に取り組んでいる浜松市と神戸市へ視察に行ってきました。

どちらの市でも、校内まなびの教室と校外まなびの教室の充実を図っていました。人員不足がそうした教室の設置において課題となりますが、両市では民間への委託、また教員免許のない人でも任用して体制作りに取り組んでいるという点がとても参考になりました。



▲浜松市視察



▲神戸市視察